

# 区連会 資料 3-1

区連会 7月説明資料  
令和5年7月18日  
都市整備局上瀬谷整備推進課

自治会町内会長 各位

都市整備局 上瀬谷整備推進課長

「旧上瀬谷通信施設地区まちづくりニュース第2号」の発行について(掲出依頼)

日頃から市政の推進にご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

「旧上瀬谷通信施設地区」は、その一部が GREEN×EXPO 2027(2027年国際園芸博覧会)の会場となるほか、その後のまちづくりを進めるために、令和5年秋以降、地区内のインフラ整備や、円滑なアクセスを実現するための交通基盤整備が本格化します。また、工事期間中に避難可能な広域避難場所の位置が時期によって変わります。

このことについて、広く区民の皆様にお知らせするため、「旧上瀬谷通信施設地区まちづくりニュース第2号」を発行いたしました。

つきましては、大変お手数ですが、貴自治会町内会の皆様にお知らせするために、掲示板での掲示についてご協力を賜りますようお願いいたします。

## 記

### 1 依頼事項

「旧上瀬谷通信施設地区まちづくりニュース 第2号」の掲示板への掲示

### 2 送付資料

「旧上瀬谷通信施設地区まちづくりニュース 第2号」A3 二つ折り

※裏表の2面あるため、掲示板の数×2部を送付いたします。

A3のため、掲示場所が足りない場合は、2、3面の掲示をお願いします。

### 3 参考

市ウェブサイトでの確認方法

「横浜市 旧上瀬谷通信施設地区 まちづくりニュース」で検索

※ 第1号もご覧いただけます。



<担当>

都市整備局 上瀬谷整備推進課 村木、永田

TEL:045-671-2061、FAX:045-550-4098

E-mail:[tb-kamiseyasuishin@city.yokohama.lg.jp](mailto:tb-kamiseyasuishin@city.yokohama.lg.jp)

## 広域避難場所について

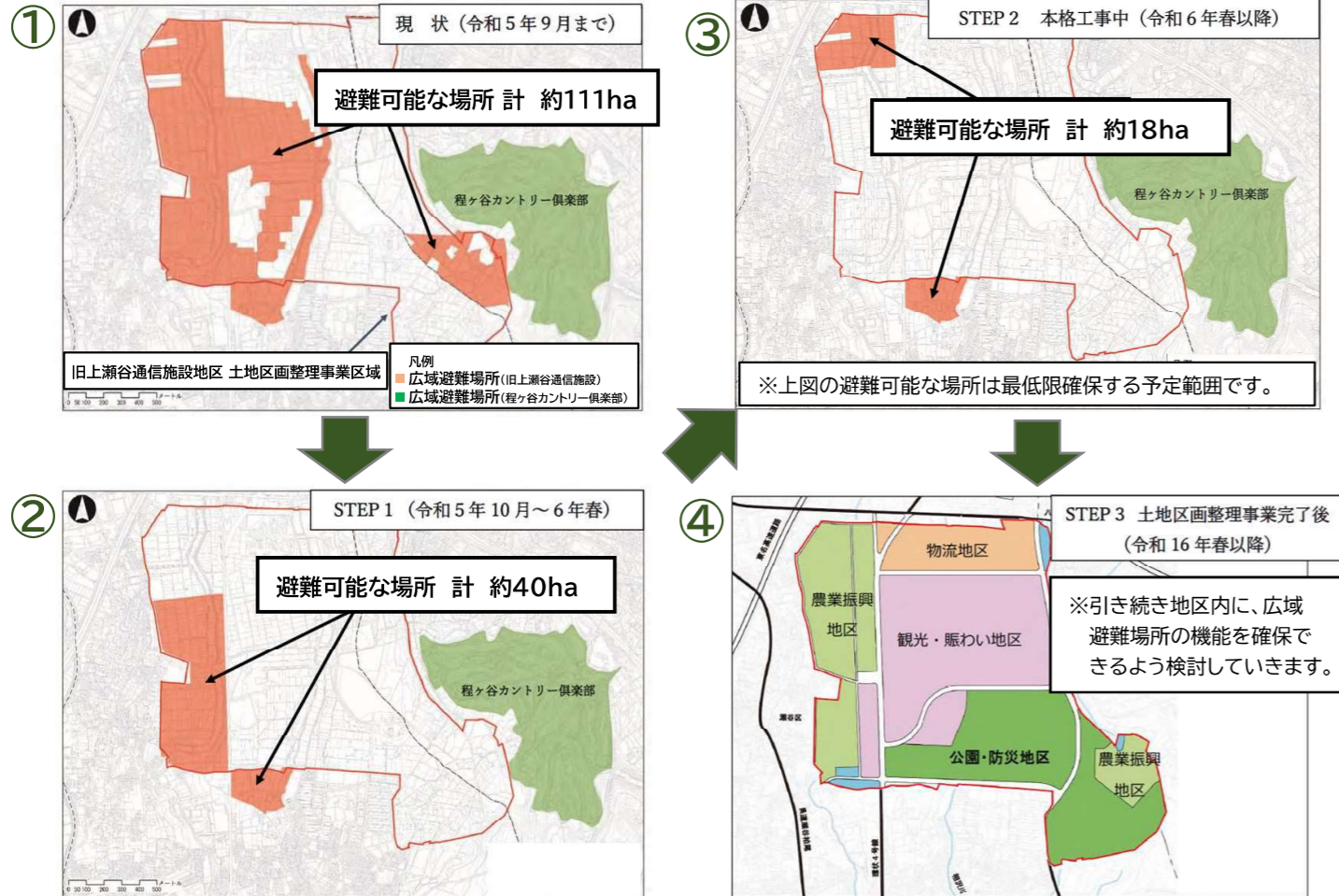
### 【広域避難場所とは？】

大地震により発生した火災が多発し延焼拡大した場合、その放射熱や煙から市民の生命・身体を守るために一時的に避難する場所です。



工事期間中は、時期によって避難可能な場所や広さが変わりますが、この広域避難場所を利用すると想定している人数に対しては、十分な広さを確保します。避難可能な場所については、今後、横浜市ウェブサイトや現地に掲示するなどして、お知らせしていきます。

### ■工事期間中の広域避難場所について(予定)



避難可能な場所の位置や期間は、今後の検討により変更する可能性があります。

## 海軍道路の桜を次世代につなげるための接ぎ木が成長しています

海軍道路の桜は、年々老木化が進んでいます。桜を次世代につなげるために、令和4年10月に策定した、「新たな桜の名所づくりに向けた基本計画」をもとに、令和5年2月に、横浜市立上瀬谷小学校の5年生の児童と接ぎ木のイベントを行いました。接ぎ木は、その後、上瀬谷小学校で大切に育てられ、新芽の成長も見受けられます。この取組を通じて、桜の記憶を継承していきます。



令和5年2月時点



令和5年5月時点

■お問い合わせ先 横浜市都市整備局上瀬谷整備推進課  
〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10 電話:045-671-2061 FAX:045-550-4098  
E-mail:tb-kamiseyasuishin@city.yokohama.lg.jp

## 旧上瀬谷通信施設地区 まちづくりニュース



### 旧上瀬谷通信施設地区について



### Q:どんな場所？

A:相鉄線「瀬谷駅」から約2km北に位置し、平成27年6月に返還された米軍施設の跡地で、約248.5ヘクタールの広大な土地※です。

※ 横浜スタジアム約70個分(球場面積:3.51ヘクタール)

### Q:どのように使われるの？

A:令和2年3月に策定した「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画」に基づき、「農業振興地区」、「観光・賑わい地区」、「物流地区」、「公園・防災地区」の4つの地区に分けて土地利用を行います。令和9年3月には、「公園・防災地区」の全域及び「観光・賑わい地区」の一部において、旧上瀬谷通信施設地区(以下、「地区」と表記します。)のまちづくりの契機となる「GREEN×EXPO 2027」(2027年国際園芸博覧会)が開催されます。

## 「GREEN×EXPO 2027」(2027年国際園芸博覧会) <開催期間> 2027年3月19日～9月26日

### Q:GREEN×EXPO 2027とは？

盛り上げていきましょう！



(公社)2027年国際園芸博覧会協会提供

A:国内で7回目、1都3県では初の万博です。

会場ではまず、圧倒的な花と緑で来場者をお迎えします。そして、地球環境の基盤である自然、植物への理解を深め、私たち人間もその一部として共に暮らしていく社会を目指し、「自然・人・社会が共に持続するための最適解」を示していく、そしてグリーンイノベーションによる今と全く違う新しい未来の姿を、横浜から世界に発信します。



令和5年度は、「機運醸成元年」

### Q:どれくらいの人がかかるの？

A:博覧会開催期間中の有料来場者を1,000万人以上※と想定して、準備を進めています。

会場までは、公共交通機関、団体バス、自家用車、徒歩など様々な手段での来場を想定しています。

※1,000万人以上は有料来場者数の想定。ICT活用や地域連携などの多様な参加形態を含む「参加者数」は約1,500万人を想定しています。

<交通機関別分担率の想定(全開催期間平均)>



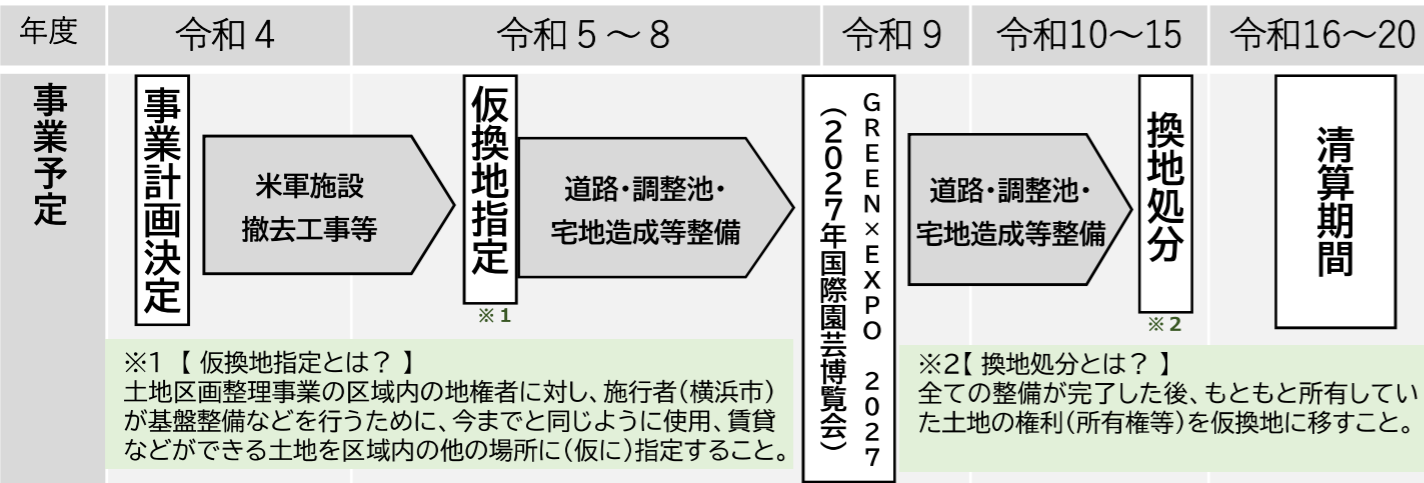
<自家用車の混雑緩和策について>

周辺の混雑緩和のため、会場隣接の駐車場に必要台数を確保するとともに、来場者へ公共交通機関の利用を促進します。また、開催期間中、来場者の集中が想定される多客日等においては、会場外にも駐車場を設け、そこからのシャトルバス輸送も検討しています。

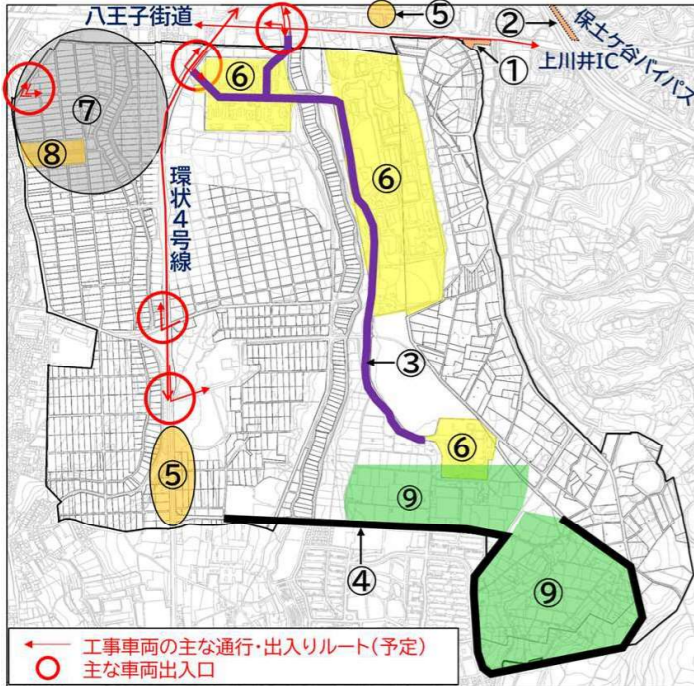
「GREEN×EXPO 2027」の開催や、その後の新たなまちづくりに向け、地区内のインフラ整備や、円滑なアクセスを実現するための交通基盤整備が本格化します。次のページでは、令和5年度の工事概要や、特に関心が寄せられている交通基盤整備の概要をお知らせします。

# 土地区画整理事業としての基盤整備全体スケジュール

現在、地区内では本格整備に先行して、既存米軍施設の撤去工事を行っています。また、将来的な土地利用を見据えて、仮換地指定※1のための設計を行っています。仮換地指定後は、「GREEN×EXPO 2027」の開催及びその後の新たなまちづくりに向けて、道路や調整池等のインフラ整備を進めます。「GREEN×EXPO 2027」開催後も整備を進め、令和15年度までに全ての整備を完了させる予定です。



## 令和5年度 主な工事の実施場所と内容(予定)



- ① 大型ブロックを積み上げたり、土を盛ることで、八王子街道の道幅を広げる工事 (右ページ 対応1-1)
- ② 保土ヶ谷バイパス上川井IC出口(横浜方面)の拡幅工事 (右ページ 対応1-2)
- ③ 工事車両のための仮設道路を作る工事
- ④ 工事区域を仕切るために、高さ約3mの鋼製の仮囲いを設置する工事
- ⑤ 地区内に水道を供給するための工事

※上記の他に地区内では、地質調査や埋蔵文化財調査、磁気探査調査、⑥米軍施設撤去工事が行われているほか、令和5年秋以降、⑦代替農地の整備、⑧ウド室の撤去工事、⑨【公園整備事業】排水等のインフラ整備や、樹木移植・植栽等の工事など、本格整備を開始します。

## 工事にあたってのお願い

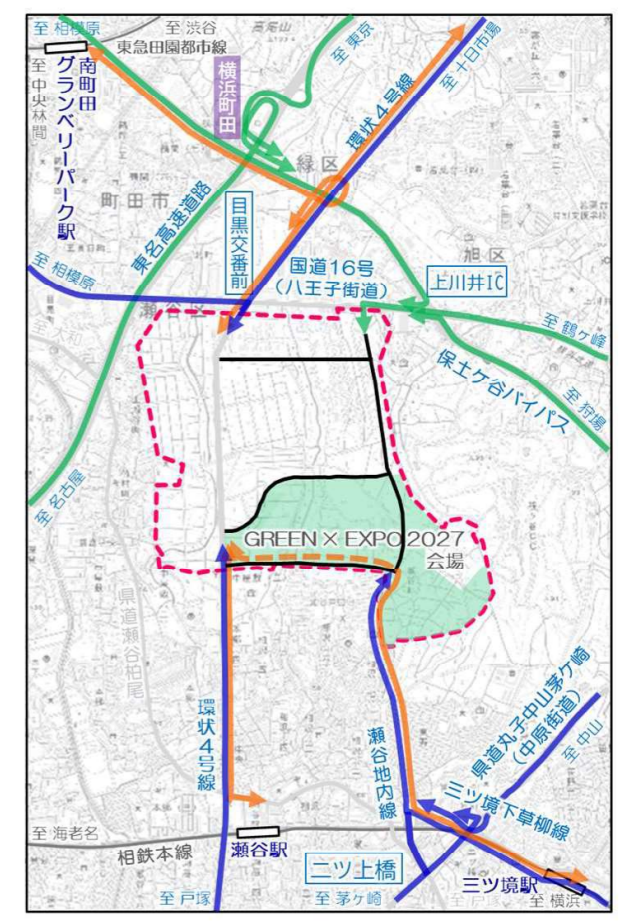
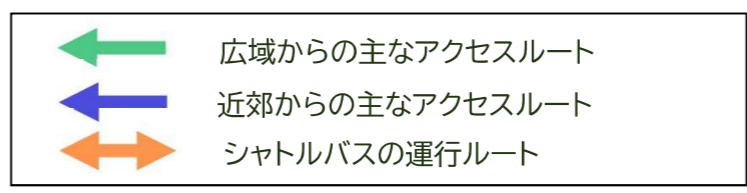
- ◆ 工事時間帯: 月～土の午前8時から午後5時まで(予定)
  - ◆ 工事車両が出入りするなど、周辺の皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。
- (夜間工事を行う場合は、工事箇所の周辺の方々に事前にお知らせします。)



# 「GREEN×EXPO 2027」の開催と将来のまちづくりに向けた交通基盤整備

Q: 自家用車や団体バス、シャトルバスなどは、どんなルートで会場にアクセスするの？

A: 右図で示すとおり、近接する様々な幹線道路を利用した南北からのアクセスが見込まれます。



Q: 渋滞しないか心配… 交通基盤整備はどこをどのように行うの？

A: 下記に示すとおり、利用が想定される様々な道路の拡幅や改良等を行い、「GREEN×EXPO 2027」開催時やその後の新たなまちづくりに向け、円滑な交通の確保を図ります。

(以下は、交通基盤整備の主な取組)

